

# 平成30年度 第2回



## 表彰事例の紹介

栃木県では、NPO・ボランティア団体と企業、大学、社会福祉法人、コミュニティ団体等が地域の課題を解決するため、それぞれの特性を生かしながら協働して取り組む社会貢献活動を「輝く“とちぎ”づくり表彰（栃木県知事賞）」として表彰しています。

第2回目となる平成30（2018）年度は、最優秀賞1取組2団体、優秀賞2取組4団体を表彰しました。



平成30年度輝く“とちぎ”づくり表彰表彰式（平成30年11月5日：とちぎ協働推進大会にて）

栃木県県民生活部県民文化課



# 最優秀賞

取組名：はが路 100 km 徒歩の旅

- 📍 はが路 100 km 徒歩の旅実行委員会
- 📍 一般社団法人 真岡青年会議所



気合いを入れるチクサクコール



ゴールに向かってもう少し



サーキットコースでゴール

## 取組内容

- ◆平成 15 (2003) 年 8 月取組開始
- ◆芳賀郡内 1 市 4 町の小学生 4 ~ 6 年生を対象とした地域教育活動の一環として、芳賀郡内 100km の道のりを、4 泊 5 日をかけて歩きぬくイベントを開催
- ◆第 5 回まで真岡青年会議所が主催、第 6 回からは、真岡青年会議所 O B を中心とした「はが路 100km 徒歩の旅実行委員会」が主催し事業を継続
- ◆若者を中心とした実行委員会が主にソフト面を作り上げ、学生スタッフの育成と子ども達を担当し、活動に際しては技術や機材を持った青年会議所のメンバーや社会人スタッフがハード面のサポートを行い、子どもたちやスタッフの安全を確保することで、お互いの持ち味を最大限に活用
- ◆メインの 2 団体以外にも、1 市 4 町、各市町教育委員会、地域の NPO 団体や企業など多種多様な組織との協働で実施

## 成果

平成 30 (2018) 年度は、110 名の小学生が参加し、学生スタッフ (51 名)、その他主催者スタッフ、サポートスタッフ、青年会議所の全面サポートにより、ほぼ全員が完歩を達成できました。

事業目的にもある、体験学習を通じた子どもたちの「生きる力」の醸成はもちろんのこと、学生スタッフを育てることでの地域リーダー育成、社会人スタッフへの学びの場の提供、そして保護者と共に学び、地域コミュニティの活性化と地域の「魅力再発見」を通じて「まちづくり」の一助となっています。

## 活動の展望

これからもさらなる地域への広がりと共に、「地域の子どもたちは地域で育てる」という意識と地域の教育力の向上をはかり、活力ある健やかな地域になることを目指しています。

## 評価のポイント

参加の子どもたちや運営に関わるスタッフ、それぞれにとって良い効果が生まれており、また、関係者の密接な連携と多大なる努力のもと長年に渡り継続して取り組んでいることが評価されました。

## 輝く“とちぎ”づくり表彰制度

### ■表彰の対象となる取組

- 次に掲げる要件をすべて満たす取組であること
- ・栃木県内に事務所を有する NPO・ボランティア団体が主体となり、企業、大学、コミュニティ団体等との協働の取組であること
- ・栃木県内で現在継続中の取組であること
- ・行政機関からの委託による取組ではないこと



# 優 秀 賞

取組名：子どもも里山も輝く「子どもの里山」事業

- 特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地
- 一般社団法人 栃木県若年者支援機構



若者たちによる里山整備



子どもの里山体験キャンプ



子どもと若者で記念写真

## 取組内容

- ◆平成28（2016）年8月取組開始
- ◆利用の機会が減り荒廃が進んだ里山を整備し、子どもたちが安全に遊べる里山を増やす活動と、子どもの貧困問題による体験の機会の格差を埋めるべく、全ての子どもたちに体験の機会を届けようという活動が連携した、子どもの里山体験キャンプを実施
- ◆自然／里山体験キャンプは、子ども食堂や無料の学習支援教室に通う子どもたちを中心に1泊2日で各回15名程度の子どもたちが参加
- ◆キャンプの運営は、自然体験に関するパートについてはトチギ環境未来基地が担い、生活面や子どもたちのサポートは栃木県若年者支援機構のスタッフが担い、得意を生かした役割分担により実施

## 成 果

益子町や宇都宮市で計6回実施し、すぐに申込み定員に達してしまうほどの大人気で、たくさんの子どもの笑顔も生まれました。

ボランティアの皆さんと共に作業を行い、6haもの里山整備が進み、延べ90人の子どもたちが身近な里山の自然を満喫できました。

子どもたちが来ることで里山の利用価値向上にも大きく寄与しています。

## 活動の展望

今後も子どもが安全に楽しく遊べる里山整備をボランティアの皆様と共に進めながら、エリアも拡大し、より多くの子どもたちが里山や自然を体験する機会をつくっていきたいと思います。

## 評価のポイント

里山と子どもを効果的に結びつけ、団体それぞれの優れた特性が活かされており、継続による波及効果が期待される取組であることが評価されました。

### ■ 評価項目

創意性、連携度、成果、継続性・発展性の観点から総合的に評価

### ■ 応募方法

自薦又は他薦

### ■ 応募期間

平成30年5月21日～平成30年7月20日

その他、詳細はホームページをご覧ください。

輝く“とちぎ”づくり表彰

検索



# 優 秀 賞

**取組名：栃木県産材の認知度向上に向けた広報活動**

- とちぎの木を活かす女子の会 ～木輪～
- 栃木県木材業協同組合連合会



とちぎの木 de トーク会



ラジオ番組「もくりん森日記」



もくりんフェス

## 取組内容

- ◆平成28(2016)年2月取組開始
- ◆一般消費者に栃木県産材や林業への理解を深めてもらうため、イベントの企画・参加・開催やラジオ番組の企画・出演を実施
- ◆林業をテーマにしたラジオ番組「もくりん森日記」では、木輪が企画・出演を行い、木協連が資金提供や制作協力を行い実施
- ◆「もくりんフェス」では、主に木輪が企画、木協連が資金協力をを行い、イベント当日は2団体で協力し、木製品の販売や木工教室、特用林産物の販売や模擬上棟式を実施
- ◆様々なイベントに出展し、木のボールプールの展示や木製品の販売等、県民の皆さんが木に興味を持ってもらえるような工夫をしながら栃木県産材をPR

## 成果

ラジオ番組のストリーミング放送（ポッドキャスト）には多くのアクセスがあり、番組視聴者からは非常に分かりやすいと好評でした。また、企業からの寄付により、シーズン1に引き続きシーズン2の放送につながりました。

もくりんフェスについては、新聞にも掲載され、多くの注目を集めることができました。

## 活動の展望

今後も、イベントへの参加やラジオ番組の企画・出演、木輪プロデュースの森づくり等、県民の皆さんへの栃木県産材のPRを続けていきます。

## 評価のポイント

栃木県産材の認知度向上、需要拡大などの共通の思いや目的のため、より身近なアプローチから、団体それぞれの持ち味を活かす工夫がされている点が評価されました。

問合せ 栃木県県民生活部県民文化課県民協働推進室  
〒320-8501 宇都宮市塙田 1-1-20  
電話 028-623-3422 FAX 028-623-2121